



ケニア国内のお得な旅行情報を定期的にお届け！

サファリの鉄人ニュース

2025 10月
Vol.3

今号の最初に取り上げるのはヌーの群れと共に外国人観光客の数も減って落ち着きを見せ始めたマサイマラ。急に実施された国立公園の大幅な値上げには驚かされましたが、サファリに適した季節はまだまだ続くので、お得で納得のいく旅行プランを一緒に探していきましょう！

1. Offer マサイマラで利用できるお得なプランあれこれ

サファリ旅行にかかる費用の総額は季節によって上下しますが、一般的には7～10月が一年で最も高くなります。ただ、普段付き合のあるロッジの料金表を改めて精査してみたところ、すぐにでも利用できそうなお得なプランや新たに発表されたキャンペーンが多数見つかりました。今回はその中から4つを厳選してご紹介します。

10月から値段が下がる宿

まずは宿泊費が早くも10月から下がり始めるロッジとして、マサイマラの真ん中にあるキーコロックロッジ（下記略図内①）とテント風のサロバマラキャンプ（同②）が挙げられます。またフィグツリーキャンプ（同③）のレジデント料金は9月から47%も下がり、10月からは1部屋あたり33,000シリングとなります（2名1室利用時）。 [フィグツリー客室→](#)



10月なのに閑散期料金で泊まれる宿

マサイマラの中だけで6軒のサファリキャンプを展開しているゼブラ・グループは10月から翌年6月までの9ヶ月間を“グリーンシーズン”と称し、一年で最も安い価格設定にしています。中でも私がお勧めするのはプールは小さいものの、客室や共有エリアからタレック川とその向こうに広がるマサイマラの景色が楽しめるリトル・リバー・キャンプ（同④）です。全10室しかないためサファリ後の自由時間を静かにゆったり過ごすことができます。レストランはナイロビ市内のカフェのような雰囲気さえ感じます。こちらのお値段は1泊1部屋あたり74,250シリング（2名1室利用時）です。



Stay 3, Pay 2



主な高級ロッジでは宿泊費と朝晩のサファリがセットになったパッケージ料金が用意されています（ウィルソン空港発着の国内線チケットは別料金）。ウェストランズにある高級ホテル・ケンピンスキーの姉妹ロッジがマサイマラの隣接エリアにあって（同⑤）、2泊すると3泊目が無料になるキャンペーンを10月中旬からクリスマス前までの期間で実施しています（3泊目の公園費は必要）。これは一人あたり650ドルも浮く計算になるのでかなりお得です（2名1室利用時）。自慢の食事に加えてケニアでは珍しいナイトサファリにも無料で参加できます。

ひとり旅応援プラン

マサイマラに隣接したマラノース私営保護区にあるカレンブリクセンキャンプ（同⑥）でも上記と同様の3泊目無料キャンペーンが11月から始まります。さらに“ひとり旅応援企画”とも呼べそうな別の割引プランもあって、1名参加時に通常は加算される割増料金がこの期間は免除されます。外部からのサファリカーの乗り入れが禁止された私営保護区の中で行うサファリは一度経験してしまうとやみつきになる怖れがありますが、まずはこのキャンプでトライしてみは？ [カレンブリクセン客室→](#)



2. Quiz

サファリクイズ

※答えは欄外

ケニア野生動物公社 (KWS) も認めるプロサファリガイド試験の過去問をご紹介！今回は何問正解できるかな？

Q1. 次のハイエナ類のうち東アフリカでは見られない種類はどれ？

- A ブチハイエナ
- B アードウルフ
- C シマハイエナ
- D ブラウンハイエナ

Q2. アンボセリに行くときよく見かけるヒヒの仲間は次のどれ？

- A マントヒヒ
- B ゲラダヒヒ
- C イエローバブーン
- D オリーブバブーン

Q3. 次のうちシロアリに最も近縁な生き物はどれ？

- A ゴキブリ
- B アリ
- C ハエ
- D ハチ

3. News

国立公園の値上げスタート



コロナ禍以降はずっと据え置きだった国が所管している国立公園（マサイマラは含まず）の入園料が今月1日から大幅値上げとなりましたので、その一部を下表で紹介します（レジデント大人料金、ケニアシリング）。7月に形ばかりのパブリックコメントが実施されたのである程度覚悟はしていましたが、たった2日間の周知期間の後でいきなり施行されてしまいました。一方で最新ニュースとして一時的な差し止め判決の噂も入ってきました。最新の状況については逐次レポートしますが、みなさんも過払いや公園ゲートでのトラブルには十分ご注意ください。

公園名	旧 (~9/30)	新 (10/1~)
ナイロビ・ツァヴォ	430	1,350
アンボセリ・ナクル	860	2,025

4. Report

アルーシャの歩き方

アルーシャはナイロビから最も近い“外国”の都市のひとつで、タンザニア第三の規模を誇ります。以前はシャトルバスが主要な交通手段でしたが、つい先日ウィルソン空港からの直行便が就航してからは更に気軽に行けるようになりました。今回はコーヒーや宝石に代わってサファリビジネスの発展が目覚ましいこの町の隠れた魅力をご紹介します。

ウィルソン空港から空路で1時間

タンザニアの首都ダルエスサラームに拠点を置く新興航空会社であるフライトリンクはコロナ前から積極的に路線を拡大していましたが、とうとう3ヶ月前にウィルソン/アルーシャという近すぎる(?) 路線をスタートさせました。以前のジョモ・ケニヤッタ空港&キリマンジャロ空港という組み合わせと比べるとドアツードアと呼べるくらい便利に感じられます。ちなみに出国手続きはウィルソン空港の中の小さいカウンターで行えますし、免税店もちゃんとあります。タンザニアから見るとケニアは黄熱病汚染国にあたるためイエローカードは必ずご用意ください。朝8時の便に乗ると9時にはコーヒー畑に囲まれたアルーシャ空港に降り立ちます。朝食がまだであればすぐ隣にあるエレガントなアルーシャコーヒーロッジに立ち寄りたり、あるいは周辺の農園でもコーヒーのイロハが学べる体験ツアーが開催されているのでお勧めです（事前申込み要）。



ウィルソン空港の内部→

充実の豚料理とビール

“帰国便”はアルーシャ発17時なので日帰りも可能ですが、1泊するなら今のナイロビではほとんど見かけなくなった超大型ホテルのグラン・メリアがお勧め。立地が良く、広大な敷地の中にはコーヒー畑まであります。ナイロビよりも安全な空気が漂う中、“エジプトと南アの間地点”とされるクロックタワー周辺を散策したり、宝石店でタンザナイト（世界で唯一の産出地がアルーシャ）を物色したり。夕食にトライして欲しいのがケニアよりも広く食べられている数々の豚肉料理。グーグルで調べて入ったお店の“ウェットフライ”が美味しすぎて、思わずシェフに聞いてみると味付けに醤油を使っていると聞いて納得。またお酒好きであれば複数のビール会社が個性的なブランドを展開中なので飲み比べも楽しめます。もちろん連泊すれば世界遺産のンゴロンゴロ自然保護区やバオバブが林立するタランギレ国立公園まで足を伸ばせます。弊社では北部タンザニア周遊だけでなくザンジバル島などもアレンジできますので、お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ・無料旅行相談は **Naturesurf Africa Safaris 井村 まで**

e-mail: imura@naturesurfafrica.com
URL: <https://safari-geek.com/>

TEL: +254-793961322 (WhatsApp)
Line ID: 1muran

バックナンバーはこちらのURLから
<https://safari-geek.com/newsletter/>

※記事の無断転載を禁じます

サファリクイズの答え：Q1-D、Q2-C、Q3-A